

ティラノサウルス

～恐竜と中生代のは虫類～

？ ティラノサウルスはどのような恐竜だったの？

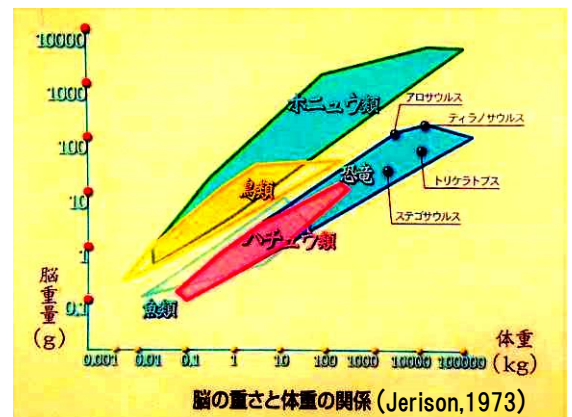
ティラノサウルスは中生代白亜紀の終わり頃（約6800万年前）に地球に出現した最大最強の肉食恐竜といわれています。最大のものでは体長13m、体重9tに達し、鋭い歯で相手の肉を切り裂き、大きな口で丸呑みにしていたと考えられます。一方、色を見分ける視物質は一般的な哺乳類よりも多く、3～4種類持っていますから、色を見分ける能力は高く、現在のは虫類の一部に見られるような色鮮やかな体色をしていたのではないかと考えられています。しかし、体色だけは確かめる方法がありません。なぜなら、まれに皮膚の化石が見つかることはありますが、長い間地層中に埋もれていた化石は、周囲の岩石の成分と置き換わってしまうため、元の体色は残らず岩石の色になってしまうからです。このことから、このティラノサウルスの動態模型の色は想像です。なお、骨格標本（レプリカ）が展示されているタルボサウルスは、このティラノサウルスと同じ仲間であると考えられています。



？ 恐竜の知能はどれくらいだったの？

動物の脳の重さと体重の関係を調べてグラフに表すと、魚類・は虫類はほぼ同じ直線上に並び、鳥類・哺乳類はそれより少し上の直線上に並びます。これは、同じ体重でも鳥類、哺乳類が、は虫類などより大きな脳を持っていることを示しており、それだけ知能が発達していたことを意味します。

恐竜は、は虫類の線を延ばしたところにあることから、知能の程度もワニやトカゲなどは虫類と同じぐらいであると予想できます。また、ティラノサウルスやアロサウルスなどの肉食恐竜と、トリケラトプスやステゴサウルスなどの植物食恐竜を比べると、同じ体重でも肉食恐竜の方が大きな脳を持っています。このことから、肉食恐竜が狩りをするために知能を発達させたと考えられます。また、ティラノサウルスの仲間が、複数でいっしょに歩いていた足跡の化石が見つかることから、発達した社会行動をとっていた恐竜もいたと考えられています。



探究・研究コーナー！ 調べてみよう！

このような恐竜が、約6600万年前に突然なぜ絶滅してしまったのか？これについては、世界中の研究者たちから多くの説が出ています。さまざまな説を唱える研究者がいますので、そうした仮説を比較して自分なりの仮説を立ててみましょう。

